

2018年度 決算公告

2019年3月26日

福岡市東区箱崎七丁目9番66号

コカ・コーラ ボトラーズジャパンベンディング株式会社

代表取締役社長 馬場 隆英

貸借対照表

(2018年12月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	10,003,880	流動負債	7,902,127
現金及び預金	218,308	未払金	2,381,077
売掛金	4,531,939	未払消費税等	672,328
貯蔵品	12	未払法人税等	582,272
前払費用	7,670	未払費用	2,609,502
短期貸付金	3,984	賞与引当金	1,120,733
未収入金	1,111,466	預り金	536,213
繰延税金資産	544,733	固定負債	1,150,970
未収利息	28	長期未払金	354,569
預け金	3,585,737	退職給付引当金	796,400
固定資産	522,829	負債合計	9,053,098
有形固定資産	127,588	(純 資 産 の 部)	
建物	0	株主資本	1,473,611
構築物	1,588	資本金	80,000
工具、器具及び備品	0	資本剰余金	211,507
土地	126,000	その他資本剰余金	211,507
投資その他の資産	395,241	利益剰余金	1,182,103
長期前払費用	52	利益準備金	20,000
繰延税金資産	395,085	その他利益剰余金	1,162,103
その他の投資	103	繰越利益剰余金	1,162,103
		純 資 産 合 計	1,473,611
資 産 合 計	10,526,709	負 債 純 資 産 合 計	10,526,709

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法によっております。なお、耐用年数は次のとおりであります。

建物	30～34年
構築物	10～30年
工具、器具及び備品	5～6年

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込み額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

a. 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

b. 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用（債務の減額）は、その発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（1年）による定額法により按分した額を発生時から費用の減額処理しております。

また、数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(3) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 513,232千円

（注）記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

以上